

皆で守ろう皆の農地

【類型】

水稻

+

露地野菜

【組織名】 百石ファーム（平成28年6月設立）

【所在】 高知県安芸郡奈半利町

【構成戸数・人数】 4戸・4人

【従事者数】 オペレーター 3人

【経営規模】 水稻 53a

野菜 10a



設立総会

設立の経緯

平成26年度：奈半利町本村を対象に「集落営農研修会」を開催（6回）

平成27年度：本村集落座談会開催（4回）→対象を百石地区に変更

百石地区集落営農勉強会の開催（10月から3回）

集落座談会で、ワークショップや集落アンケートの実施

により、集落の意向や現状、将来像が明らかになり、

有志6人で準備会を発足することになった（H28.1.12）

平成28年度：準備会開催（15回）

集落ビジョン、規約等を検討し、6人で集落営農組織

「百石ファーム」を設立した。（H28.6.15）

取組の特徴・効果

- 組合員の農地で水稻の協業栽培を開始した。
- 水稻の裏作として露地栽培に取り組み、収益向上を図っている。
- 労働力確保のため組合員の家族も参加して収穫・調製作業等を担っている。
- 出荷先は、直販所やふるさと納税の返礼品など。

【具体的な取組内容】

協業栽培

- 平成28年度水稲80a、露地野菜45.5a(じゃがいも、だいこん等)
- 平成29年度水稲50a、露地野菜10a(サツマイモ)
- 平成30年度水稲53a、露地野菜9.5a(じゃがいも、ブロッコリー)



【主な機械・施設】

- 機械類は個人のもを使用し、組織所有のものはないが、必要に応じて中山間複合経営拠点「なはりの郷」の機械を利用。

【課題・今後の取組】

(課題)

- 人員不足
組合員は設立当初6人いたが、水稲跡に野菜栽培を開始すると家業が忙しく活動に参加できないことを理由に2人脱退し4人になった。
4人の組合員も、家業が忙しく集落営農活動ができる人が少ない。
水稲栽培は全員参加できているが、露地野菜栽培はより多くの組合員が参加できる品目の選定が必要。
- 露地栽培のため天候に左右されて適期に作業ができていない場合がある。

(今後の取り組み)

- 水稲栽培の充実
- 作業性、収益性の良い品目の導入・定着
じゃがいも、ブロッコリー等
- 品目ごとの収支決算により、黒字経営を目指す。